

# 家庭教育通信

小学校低学年期のこどもたち4

令和2年11月11日発行

## 学習習慣を整えよう

感染症対策のため自宅で過ごす時間が増える中、落ち着いて勉強しない子を見て、やきもきする方も多い昨今。どうしたら望ましい学習習慣が身につくのでしょうか。

習慣とは継続する力。キーワードは「無理なくできること」だと言えるでしょう。

### 勉強する時間を決めよう

親の勤務形態や家族の生活リズムによるため、こどもにとっての最適な勉強時間帯は一般化しにくいものです。

ただ大事なことは、家庭生活の中に「勉強する時間」を意識して作り、家族みんなが協力することです。朝食前・学校から帰った直後・夕食前など、たとえ15分でもすき間時間の活用は習慣にすれば強い味方です。

### 勉強する場所を考えよう

落ち着く場所も、こどもによって違うものです。静かな個室も良いけど家族がいる居間のテーブルの方がはかどる（質問できるから）と言う子もいます。「玄関先の廊下でささっと宿題をやるのが一番集中できるんだ！」と言う子もいました。

何をどこでやるのが良いか一緒に考えながら、気持ちよく進めたいものですね。

### 小さな目標をつくろう

大きな夢をもつことは大切ですが、習慣づくりのコツは小さな目標をつくることです。

1日10個とか、3ページとか少しずつを具体的に決めると良いと思います。

スモールステップを丁寧に踏むことによって山頂へ。これは山登りと同じですね。

### 「できた感」を演出しよう

やった結果が、目に見える形になるのは、こどもにとって嬉しいことです。

勉強カレンダーを作り、小さな目標を達成したらマス目に色を塗るとか、はな丸をつけるとか。できた感の演出方法を工夫してみましょう。

### 親も一緒に学びを楽しもう

こどもに勉強せよと言うだけでなく、親も何か学びに取り組んでみませんか。語学、歴史の読み直し、新しい料理など。身近なことの中に興味をもって新しい学びのテーマを見つける大人の姿は、きっとこどもに大切なことを教えてくれるに違いありません。

地域教育課社会教育担当  
Tel (3647) 9676